



市内の小・中学校で入学式

■4月6日、市内各小・中学校で入学式が行われました。別府小学校では、新1年生13名が元気に入學し、小学校生活がスタートしました。



かつおのビンタ料理で
転入教職員を歓迎

■4月13日、立神小・中学校PTA合同主催の転入教職員歓迎会が大塚公民館で行われました。転入してきた11名の先生は、恒例のカツオのビンタ料理を豪快に食べていました。



来場者に枕崎鰹節をPR

■4月15日、鴨池野球場で行われたプロ野球公式戦福岡ソフトバンクホークス対千葉ロッテマリーンズ戦で、枕崎水産加工業協同組合が来場者に鰹節パックの配布を行い、枕崎鰹節のPRを行いました。



健康歩こう会

■4月21日、健康歩こう会が行われました。参加した市内スポーツ少年団6団体約100名は、妙見グラウンドから木口屋集落の自然花を往復する約9キロのコースを歩きながら交流を深めました。



本市特産品をPR

~第14回関西かごしまファンデー

第14回関西かごしまファンデー(関西鹿児島県人会総連合会主催)が4月15日、大阪市の京セラドームで開催されました。鹿児島県内の特産品を目当てに約35,000名が訪れ、会場は熱気に包まれていました。

本市からは市通り会連合会の枕崎鰹船人めしや焼酎、さつま揚げなどのブースが設けられ、多くの人にぎわっていました。

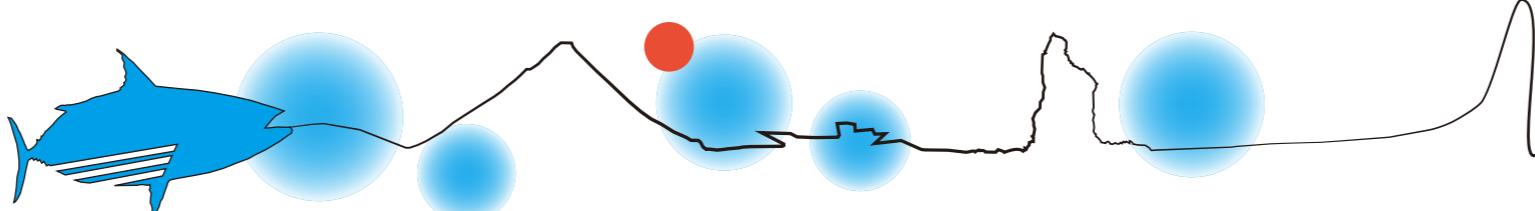


交通安全・地域安全を呼び掛ける ~春の全国交通安全運動、春の地域安全運動

4月6日から15日は、春の全国交通安全運動と春の地域安全運動期間でした。

10日には、交通安全街頭キャンペーンが桜木町の国道226号線沿いで行われました。市や警察署、枕崎地区交通安全協会、枕崎地区安全運転管理協議会、市老人クラブ連合会、鹿児島銀行が参加し、ドライバーに安全運転を呼び掛けました。

また、9日には、市内各地で地域安全街頭キャンペーンが行われ、子ども・女性の犯罪被害の防止やうそ電話詐欺の被害防止についての防犯チラシを配布し、地域の安全を呼び掛けました。



さわやかな香りの中、茶摘みを体験 ~別府中学校全校生徒が茶摘み体験

別府中学校の全校生徒60名が、4月23日、農研機構枕崎茶業研究拠点の茶畠で茶摘みを体験しました。

生徒たちは、枕崎茶業研究拠点長の根角厚司さんと生産者の真茅芳秋さんの指導のもと、べにふうきの「一芯二葉」を丁寧に摘み取り、約18kgの茶葉を収穫しました。

初めて茶摘みを体験した1年の中原駿介さんは「摘んだときの『ぶちっ』という音で疲れがとれました。おいしいお茶になってほしいです」と話していました。



カツオのように強く元気になってね ~新1年生がかつおのぼりを掲揚

4月25日、枕崎小学校の新1年生25名が市役所正面玄関前にかつおのぼりを掲揚しました。

このイベントは、カツオの元気さと縁起の良さにあやかり、枕崎の水産業の振興を祈願し、かつおまつりを盛り上げるとともに子どもたちの健やかな成長を願って平成11年から毎年行われています。

児童は「こいのぼりの歌」の替え歌「かつおのぼりの歌」を元気に歌しながらロープを引っ張り、大小12匹のかつおのぼりを掲揚しました。

立石凜心さんは「初めてやってみて楽しかったです。小学校では、勉強と宿題を頑張りたいです」と話してくれました。



海上特攻から73年、平和への願い ~海上特攻第二艦隊戦没者追悼

戦艦大和をはじめとする第二艦隊海上特攻から4月7日で73年が経ちました。当日は、平和祈念展望台奉賛会により献花用の菊が準備され、昨年制作された展望台のイメージソング「千の蜻蛉」が流れる中、全国から約180名が参拝に訪れました。大和が沈没した午後2時過ぎには、参拝者が哀悼の意を込め、黙とうを捧げました。



おれんじカフェ(認知症カフェ)を開催 ~10周年ヒルズ祭り

4月22日、10回目を迎えたヒルズ祭がサザン・ヒルズで行われました。合唱やダンス、よさこいなどのパフォーマンスのほか、工作などを行うキッズコーナーやバザーなどのブースが設けられ、多くの人にぎわっていました。

また、市内認知症キャラバンメイトによる「おれんじカフェ(認知症カフェ)」も設けられ、訪れた人たちに認知症に対する理解や高齢者の見守り、地域の支え合い・助け合い活動の重要性などについて呼びかけていました。